

「弊社のインターンシップ研修」

同友会大学同窓生の皆様はじめまして、株式会社パル・コーポレーションの本見（もとみ）と申します。昨年同友会大学を卒業したばかりの、同窓生としてはまだまだ経験の浅い自分が歴史あるコムラードレター(コムレタ)第58号(9/10発行)の執筆依頼を受けるとは夢にも思わず、あまり出来の良い学生ではなかったはずの自分に白羽の矢が当たったのは何故か？未だに疑問を残すところです。ですが、大勢の同窓生の中からせっかくこういう機会を頂いたので、少しだけ我が社のインターンシップ研修について書かせて頂こうと思います。

大学生のインターンシップ研修、自分が大学生だった数十年前にはこんな研修制度などありませんでした。ネットも普及されていない時代に無数の企業から就職先を選ぶのはただただ大学に来る企業の求人案内だけが頼りでした。今考えても我が社のような無名に近い中小企業の求人など見向きもしなかったのでは？と思い返しています。それを思うと現在は、3年生時の夏休みに平均5日間のインターンシップ研修で興味のある企業を知ることができ、いろいろな社会体験が可能でさらには大学の単位ももらえる。こんな素晴らしい制度は社会人を長くやっている自分としては羨ましい限りです。

では、弊社のインターンシップ研修についてはというと・・・。毎年大学の夏休みの間に5日間、北海道推進協議会・各大学より数名の受け入れを実施しています。研修内容はオリエンテーション・デザインを含む商品提案企画作成・実際にお客様に納品する商品のセット作業や出荷作業の補助・売店の実地体験など、研修を受けに来てもらった学生達がお腹一杯で研修を終えてもらえるようなスケジュール内容と自負しています。採用・インターンシップ研修の担当部署があるわけではない我が社では研修期間の学生対応を社長と自分で行います。研修中は各部署の協力もありますが通常業務とは異なる日々になること必須で、時には営業の打ち合わせに同行させることもあります。

弊社がインターンシップ研修にこれほど力を入れる理由は、大学と大学生の皆さんに(株)パル・コーポレーションという企業を知ってもらい、いずれ来る新卒採用につなげていきたいからです。同友会の集まりやお客様との会話の中でもインターンシップ研修をどうやって進めたら良いかわからない、インターンシップ研修をやらないと採用につながらないというお話を聞きます。研修自体に応募がないこともあるとのこと。有難いことに今年のインターンシップ研修には過去最高の11名の大学生が研修に来ます。1度に全員は無理なので3グループに分けていて9月はほぼほぼ研修期間となり嬉しい悲鳴が出てきます。最近では長年のこの努力が認められ？大学よりキャリア支援の講義のコマに呼ばれることも。研修は学生の学びの場だけでなく、社員達の色々な意味で勉強の場となっています。

研修真っ最中の今、大学生との交流で自分も若返る気がしています。

2024年9月10日
株式会社パル・コーポレーション
本見 綾子（第71期卒）